

TPS はどのように機能しますか？

タイヤシーラント TPS は圧縮エアでタイヤ内へ注入されます。注入直後に最高時速 80 km で走行することにより、シーラントがタイヤ内部に分配されます。これにより栓が形成され、破損箇所が液体で塞がれます。

TPS で修理されたタイヤでの走行はどの程度安全ですか？

TPS の機能性は有名自動車メーカーおよび DEKRA の検査を受けています。TPS は商用車タイヤ上で最高時速 80 km の走行に使用できます。車両を TPS で修理した場合、使用上の注意を厳守しながら慎重に走行されることをお奨めします。

TPS で修理されたタイヤではどの程度の距離を走行できますか？

完全な修理は遅くとも 1,000 km 走行後または 14 日後に専門業者に行わせてください。技術的にはタイヤ修理が可能ですが、実際に修理が可能かは専門業者に判断させてください。

TPS の使用にあたって留意すべき安全上の注意はありますか？

使用にあたって特に注意を要する安全性の注意はありません。

ただし、肌の敏感な方には手袋の着用をお奨めします。さらに保護メガネの着用をお奨めします。

TPS の処分にあたって注意すべきことはありますか？

処分時には、各国および各地域の法規に従ってください。

タイヤに付着した TPS は布で拭き取り、家庭用ゴミとして処分することができます。

TPS がタイヤ上に残っている場合には、さらに水で洗い流すことが可能です。衣服に付着したシーラントは簡単に洗い落とすことができます。

TPS で修理したタイヤを後日完全に修理することは可能ですか？

修理方法に関してはタイヤ専門業者に判断させてください。

タイヤに食い込んだ異物を発見しましたが、取り除くことができません。それでも TPS を使用することはできますか？

はい。TPS での修理後に走行を続けることは可能ですが、異物により生じるタイヤでは縮充作用によりその後の完全修理は不可能となることがあります。

タイヤ内に残圧が残っている場合、釘などの異物が急に飛び出る恐れがありますので、特に注意が必要です。

凍結時や過度な高温時にも TPS を使用することはできますか？

はい。TPS の使用および保管は +80 °C ~ -40 °C の温度環境下で行なえます。

TPS を他のパンク予防用タイヤシーラントと併用することは可能ですか？

この点に関しては WABCO では十分な経験を有していません。このため、他のパンク予防用タイヤシーラントとの併用はお奨めできません。

なぜ 2 種類のバルブインサートツールが必要となるのですか？

長い方のバルブインサートツール（金属/樹脂製）により、標準タイヤおよび内部ツインタイヤの充填が簡単に行なえます。

外部ツインタイヤの場合には通常バルブボンネットが車両中央方向を向いていることから、短い方のバルブインサートツールを使用することが必要となります。

使用にあたっての詳細は取扱説明書（番号 815 980 148 3）に記載されています。

TPSがあれば予備タイヤやジャッキの常備は不要となりますか？

タイヤ側面やリム、またはタイヤカーカス上に大きく生じた破損はTPSで修復することはできません。予備タイヤや相応の工具を常備するかは所有者の皆様が判断してください。

大半のタイヤ破損は異物（< 10 mm）がタイヤのプロファイルに食い込むことが原因となっています。このような破損はTPSで一時的に修理することが可能となりますので、予備タイヤは不要となります。

TPSを使用しない場合にもタイヤ充填ホースは役に立ちますか？

はい。お手持ちの車両の取扱説明書上に適切なタイヤ充填コネクタが記載されています。

修理中にタイヤバルブインサートを紛失した場合、どうすればよいですか？

この場合、缶のバルブインサートを使用してタイヤシーラントを注入することができます。

缶上にある丸いシールには「80 km/h; 50 mph」と記載されています。これは何を意味しますか？

TPSでタイヤを修理した場合、このシールを缶から取り外してドライバーの視界に貼ってください。

この走行速度制限は法的に定められており、厳守する必要があります。

タイヤ圧監視システムが車両内に搭載されている場合、どの点に注意しなければなりませんか？

WABCO タイヤ圧監視システム IVTM: タイヤにタイヤシーラントを注入する際には、絶対にホイールモジュールのホースを使用せず、タイヤバルブボンネットから直接行なってください。これを怠るとホイールモジュールが接着し、機能しなくなります。

その他のメーカーのタイヤ圧監視システム: システムサプライヤーにTPSの使用をご相談ください。

WABCO 商用車用内蔵型タイヤモニタリングシステム (IVTM) が装備されているとさらにメリットがありますか？

TPSはIVTMの補完に理想的な製品です。タイヤに漏れが発生した場合、IVTMは早い時点でこれを検知します。このため敏速かつ安全にTPSで一時的修復することが可能となります。

TPSの保存可能期間はどの程度ありますか？

製造日付から8年間です。缶ラベルの右下に保存期限（年および月）が記載されています。ラベル左にはWABCOパーツ番号が記載されています。再調達の際にはこの番号をご指定ください。

技術仕様	
密閉作用	最大 10 mm の異物のタイヤ溝への食い込みに対応。
用途	<ul style="list-style-type: none"> • 通常サイズによる標準タイヤまたはツインタイヤを装備した一般道路向け商用車（自動車、牽引車、5 トン以上のバス）に使用可能。 • コンプレッサー装備車両はタイヤ注入に適していません。 • チューブレスタイヤへのみ注入用。 • シーラント缶はよく振ってからご使用ください。
特殊サイズタイヤ	<p>通常のサイズ以上の大きさのタイヤ（SuperSingles）, をご使用の際には、もう一本の缶を使用してください。</p> <p>トラック、バス、トレーラに対して下記の計算式に従ってください。</p> <p>応急対応 ; (EG/ECE vehicles)</p> <p>TPS 最低量 [ml] = タイヤ幅 [mm] x タイヤ外径 [mm] ÷ 0.003mm</p> <p>予防対応 (認められていない EG/ECE):</p> <p>TPS 最低量 [ml] = タイヤ幅 [mm] x タイヤ外径 [mm] ÷ 0.005mm</p>
圧力安定性	9 パールまで
保存可能期間	開缶しなかった場合、製造日付から 8 年間。
重量	修理セット : 約 3.5 kg
温度	車両上での使用および保管: -40°C ~ +80°C
走行速度	タイヤプレミアムシールの使用後 : 最高時速 80 km / 50 mph
処分	タイヤプレミアムシールは水溶性ですので、下水へ流すことができます。ただし、各地域および各国に定められた法規に従ってください。
899 900 001 0 899 900 101 0 899 900 101 2	Tire Premium Seal for Commercial Vehicles Refill Kit & Valve Extractors Refill / SuperSingle Upgrade